

2026年3月25日（水）から、関東の鉄道事業者11社局の路線を対象とした、
クレジットカード等のタッチ決済による後払い乗車サービスの相互利用を開始します

小田急電鉄株式会社
小田急箱根会社
京王電鉄株式会社
京浜急行電鉄株式会社
相模鉄道株式会社
西武鉄道株式会社
三井住友カード株式会社
株式会社ジエーシービー

東急電鉄株式会社
東京地下鉄株式会社
東京都交通局
東武鉄道株式会社
横浜高速鉄道株式会社
オムロンソーシアルソリューションズ株式会社
QUADRAC株式会社

関東の鉄道事業者11社局（小田急電鉄株式会社、株式会社小田急箱根、京王電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、相模鉄道株式会社、西武鉄道株式会社、東急電鉄株式会社、東京都交通局、東武鉄道株式会社、横浜高速鉄道株式会社）と、オムロンソーシアルソリューションズ株式会社（以下、「OSS」という。）、三井住友カード株式会社（以下、「三井住友カード」という。）、株式会社ジェーシービー（以下、「JCB」という。）、QUADRAC株式会社（以下、「QUADRAC」という。）が連携し、クレジットカード等^(※1)のタッチ決済による後払い乗車サービス（以下、「後払い乗車サービス」という。）で、対象となる鉄道事業者間を相互に乗り継いでご利用できるサービス（以下、「相互利用」という。）を2026年3月25日（水）から開始します。

（※1）タッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）や、同カードが設定されたスマートフォン等

2026年3月25日（水）からは、既に後払い乗車サービスを導入している6社局（京王電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、西武鉄道株式会社、東急電鉄株式会社、東京都交通局、横浜高速鉄道株式会社）に加えて、新たに5社（小田急電鉄株式会社、株式会社小田急箱根、相模鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、東武鉄道株式会社）が後払い乗車サービスを開始し、鉄道事業者11社局54路線729駅^(※2)を対象とした相互利用が可能となります。これにより、鉄道事業者11社局間の相互直通運転等にも対応し、複数の鉄道路線をシームレスに乗り継いでご利用いただけるようになります。今後も、開始時点での対象外となる11社局の路線・駅にも対象範囲を順次拡大するとともに、後払い乗車サービスの相互利用が可能な鉄道ネットワークの拡充を図ってまいります。

（※2）2026年3月25日時点。対象となる路線や駅は、事業者ごとに異なります。詳細は別紙をご確認ください。

関東の鉄道事業者11社局が連携し、使い慣れたクレジットカード等1つで鉄道をご利用いただける新しい移動環境を整備することで、国内外の多様なお客さまに快適でシームレスな乗車体験を提供します。これからも、既に多くのお客さまにご利用いただいている交通系ICカードを主軸と位置づけたうえで、お客さまや社会のニーズ変化に柔軟に対応し、技術革新を積極的に取り入れながら、鉄道事業者間の連携をさらに進め、安全・安心かつ便利でシームレスな鉄道ネットワークの価値向上を追求し、都市交通のさらなる利便性向上に取り組みます。



1. サービスの概要

(1) 後払い乗車サービスの相互利用開始日時

2026年3月25日(水) 始発から

(2) 鉄道事業者 11社局の対象路線・ご利用可能駅

(2026年3月25日時点)

対象事業者	対象路線	ご利用可能駅
小田急電鉄	全線（小田原線、江ノ島線、多摩線）	全駅
小田急箱根	箱根登山線	小田原、箱根湯本、塔ノ沢、大平台、宮ノ下、小涌谷、彫刻の森、強羅
	箱根登山ケーブルカー	強羅、早雲山
京王電鉄	全線（京王線、高尾線、相模原線、競馬場線、動物園線、井の頭線）	全駅（臨時口の改札口は対象外）
京浜急行電鉄	全線（京急本線、空港線、大師線、逗子線、久里浜線）	全駅
相模鉄道	全線（相鉄本線、相鉄いずみ野線、相鉄新横浜線）	全駅
西武鉄道	池袋線、西武秩父線	池袋、江古田、桜台、練馬、中村橋、富士見台、石神井公園、大泉学園、保谷、ひばりヶ丘、秋津、所沢、西所沢、小手指、狭山ヶ丘、武蔵藤沢、稻荷山公園、入間市、仏子、元加治、飯能、東飯能、高麗、西武秩父
	新宿線	西武新宿、高田馬場、東伏見、田無、花小金井、小平、所沢、航空公園、新所沢、入曽、狭山市、新狭山、南大塚、本川越
	国分寺線	国分寺、恋ヶ窪、鷺の台、小川
	西武有楽町線、豊島線、狭山線、山口線、拝島線、多摩湖線	全駅
東急電鉄	全線（東横線、目黒線、東急新横浜線、田園都市線、大井町線、池上線、東急多摩川線、世田谷線、こどもの国線）	全駅
東京地下鉄（東京メトロ）	全線（銀座線、丸ノ内線、日比谷線、東西線、千代田線、有楽町線、半蔵門線、南北線、副都心線）	全駅（中野駅からの乗車は対象外）
東京都交通局（都営地下鉄）	全線（浅草線、三田線、新宿線、大江戸線）	全駅
東武鉄道	東武スカイツリーライン	全駅
	伊勢崎線	和戸、久喜、館林、足利市、太田
	日光線	杉戸高野台、幸手、南栗橋、栃木、新鹿沼、下今市、東武日光
	鬼怒川線	新高徳、東武ワールドスクウェア、鬼怒川温泉
	東上線	池袋から小川町までの全駅
横浜高速鉄道	全線（みなとみらい線）	全駅

※開始日時点における後払い乗車サービスの相互利用範囲は上記11社局のみです。

※記載のない路線・駅はご利用できません。詳細は各鉄道事業者のホームページ等をご参照ください。

※中野駅からの乗車時には、後払い乗車サービスはご利用できません。他駅から後払い乗車サービスで乗車し、中野駅で降車する場合は、改札窓口でクレジットカード等への処理を行います。

※相模鉄道では、2026年3月の導入開始時には、全駅の改札窓口と一部駅の自動改札機にてご利用いただけます。その後自動改札機の更新時期に合わせて、対象改札機を順次拡大してまいります。

※西武鉄道では、2027年3月までに全路線・全駅への対象範囲拡大を予定しています。

※箱根登山ケーブルカー及び世田谷線は、新たな運賃計算システム（詳細は参考4）の対象外です。

(3) ご利用方法

タッチ決済対応のクレジットカード等を自動改札機等の読取部にかざすことで、事前に乗車券を購入することなく、そのまま改札を通過し、対象となる路線・駅をご利用いただけます。

(4) 適用運賃

普通旅客運賃（10円単位運賃）

※大人運賃のみ。（小児運賃の設定はありません。小児がご利用になる際は、クレジットカード等の名義人本人であれば利用可能ですが、運賃は大人運賃が適用されます。）

※東京メトロ線と都営地下鉄線を乗り継ぐ場合に、連絡普通旅客運賃から70円を割り引きます。

※その他の運賃割引は行いません。

(5) 詳細事項

（2026年3月25日時点）

項目	内容
対象となるクレジットカード等	種類 タッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）や、同カードが設定されたスマートフォン等
	対応する決済ブランド Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、Discover、銀聯（計7ブランド）
	運賃の決済 ご利用のカード（クレジット・デビット・プリペイド）のお支払方法に応じて精算されます。
その他	改札外乗換え 以下の乗換駅では、乗換時間が60分を超えると、乗換駅からの運賃が新たに必要となります。 <ul style="list-style-type: none">改札口をいったん出場する東京メトロ線の乗換駅改札口をいったん出場する都営地下鉄線の乗換駅改札口をいったん出場する東京メトロ線と都営地下鉄線の乗換駅
	「のりかえ専用改札」での乗換え 以下の乗換駅では、「のりかえ専用改札」をご利用いただけます。 <ul style="list-style-type: none">東京メトロ線と都営地下鉄線の乗換駅（青山一丁目駅、市ヶ谷駅、春日駅・後楽園駅、人形町駅、門前仲町駅）小田急線と相鉄線の乗換駅（大和駅） <p>※対象となる鉄道事業者11社局以外の路線との「のりかえ専用改札」はご利用できません。（この場合、改札口をいったん出場してお乗換えいただくか、交通系ICカード等をご利用ください。）</p>
	制限事項等 <ul style="list-style-type: none">入場時に使用したクレジットカード等でなければ出場できません。（同一のクレジットカード等での入場・出場が必要です。）他の乗車券等（定期乗車券等）との併用はできません。対象となる鉄道事業者11社局以外の路線（ご利用可能エリア外）への乗越しはできません。また、対象となる鉄道事業者11社局以外の路線をまたいでご利用はできません。後払い乗車サービスは、振替輸送の対象外です。後払い乗車サービスは、入場券としてご利用はできません。
	ご利用履歴の確認 QUADRACのQ-moveサイトにアクセスし、「マイページ」の会員登録手続きが完了しますとご確認いただけます。 https://q-move.info/

※上記の他、各鉄道事業者の定める運送約款やホームページ等をご確認の上、ご利用ください。

(参考1) ご利用イメージ (ご利用できる例)

(1) 鉄道事業者 11 社局間を相互に乗り継いでご利用いただく例 (相互直通路線等に対応)

例1	西武池袋線 所沢駅から、みなとみらい線 元町・中華街駅までご乗車の場合	
例2	東武東上線 朝霞台駅から、相鉄本線 瀬谷駅までご乗車の場合	
例3	京急空港線 羽田空港第3ターミナル駅から、都営浅草線 浅草駅までご乗車の場合	
例4	東京メトロ千代田線 大手町駅から、箱根登山線 箱根湯本駅までご乗車の場合	

(2) 改札外乗換の例 (改札口をいったん出場して乗り換える例)

改札口をいったん出場する乗換駅では、乗換時間が 60 分を超えると、乗換駅からの運賃が新たに必要となります。

例5	上野駅で、改札口をいったん出場して、東京メトロ銀座線から日比谷線へ乗換える場合	
例6	東日本橋駅で、改札口をいったん出場して、都営浅草線から都営新宿線へ乗換える場合	
例7	新宿三丁目駅で、改札口をいったん出場して、東京メトロ線から都営線へ乗換える場合	

(3) 「のりかえ専用改札」での乗換の例

例8	青山一丁目駅の「のりかえ専用改札」で、東京メトロ線と都営地下鉄線を乗換える場合	
例9	大和駅の「のりかえ専用改札」で、相鉄線と小田急線を乗換える場合。	

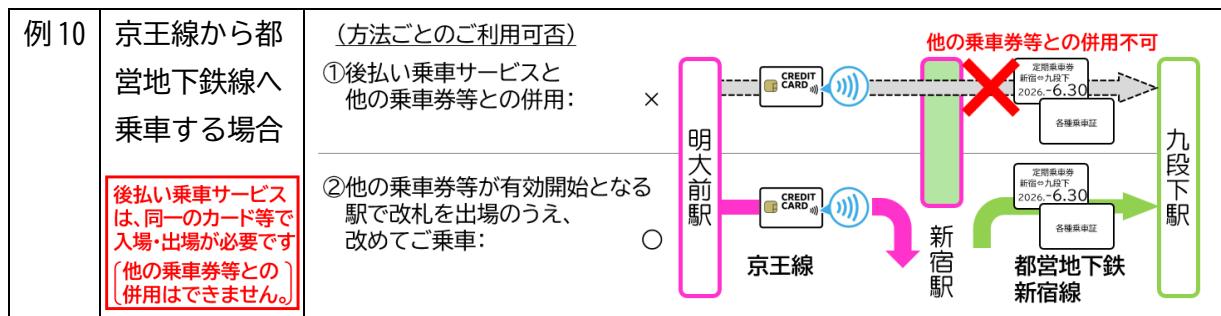
※自動改札機等に設置された読み取り部には、音が鳴るまで、確実なタッチをお願いいたします。

特に、乗換駅では自動改札機等での読み取りができないと降車駅で正しい運賃が差し引けないことがあります。

(参考2) 制限事項等(ご利用できない例)

(1) 後払い乗車サービスと、他の乗車券等(定期乗車券等)との併用は、ご利用できません。

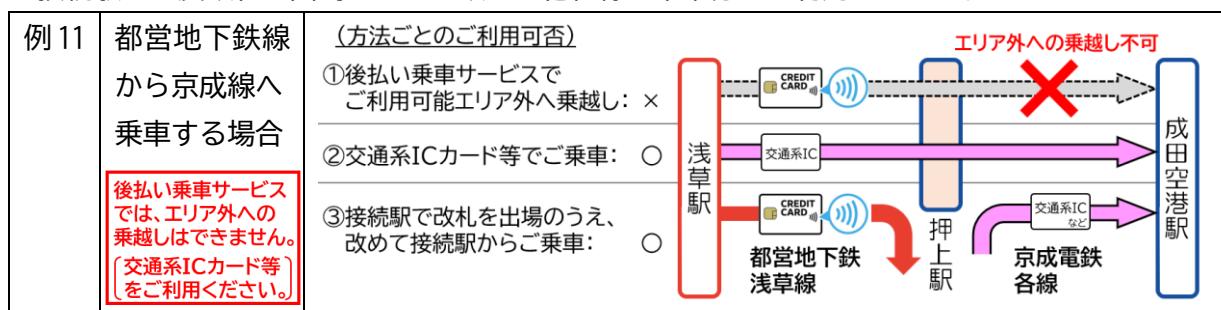
他の乗車券等が有効開始となる駅で一度改札を出場のうえ、改めてご乗車ください。



※ご注意: 後払い乗車サービスは、同一のクレジットカード等で自動改札機等を入場・出場してご利用が必要です。他の乗車券等と併用してご利用はできませんのでご注意ください。また、「のりかえ専用改札」での乗換えの際も、他の乗車券等との併用はできません。

(2) 後払い乗車サービスでは、ご利用可能エリア外(対象となる鉄道事業者11社局以外の路線)への乗越しはできません。

ご利用可能エリア外までご乗車になる場合は、交通系ICカード等をご利用いただくか、他社線との接続駅で一度改札を出場のうえ、改めて他社線の乗車券をご利用ください。



※ご注意: ご利用可能エリア外へ乗越しした場合、後払い乗車サービスは乗車駅から無効となります。この場合、降車駅では、接続駅から降車駅までの運賃をご精算いただきます。また、別途、乗車した鉄道事業者の対象駅で、クレジットカード等の入場履歴の処理と、乗車駅から接続駅までの運賃精算が必要です。

いずれも、現金等(クレジットカード決済以外)で、10円単位運賃での精算となります。

(参考3) ご利用履歴確認方法

QUADRACが提供するQ-moveサイト(<https://q-move.info/>)へアクセスし、マイページの会員登録手続きが完了しますとご利用履歴を確認いただけます。

<ご利用履歴確認イメージ>

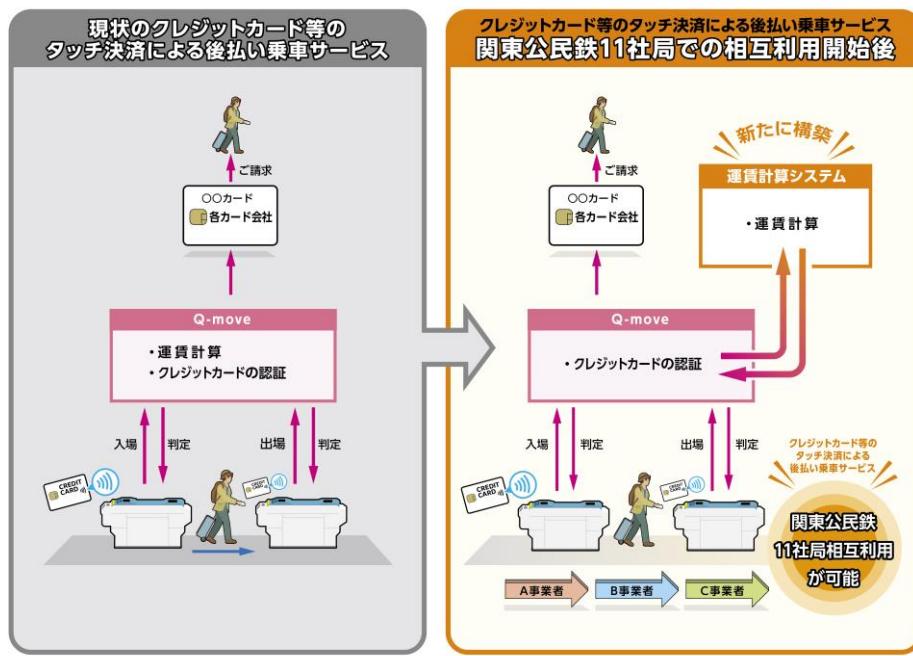
(Q-moveサイト)



(参考4) 新たな運賃計算システムの開発と、各社局の役割

後払い乗車サービスの相互利用にあたり、相互直通運転を始めとする関東特有の入り組んだ路線網や改札外乗換等、複雑な運賃計算上の課題に対応するべく、鉄道事業者11社局とOSSが協働し、新たな運賃計算システムの開発を行いました。

この新たな運賃計算システムと、三井住友カードが提供する公共交通機関向けソリューション「steria transit」及びQUADRACが提供するSaaS型プラットフォーム「Q-move」が連携することにより、関東での後払い乗車サービスの相互利用を実現いたします。



<各社局の役割>

鉄道事業者 11社局	・本共同事業の総括 ・鉄道の運行、改札システム及び鉄道オペレーションの提供 ・後払い乗車サービスの相互利用に必要な運賃計算システムの開発・構築
OSS	・後払い乗車サービスの相互利用に必要な運賃計算システムの開発・構築
三井住友カード	・steria プラットフォーム(steria transit)の提供 ・Visa、Mastercard、銀聯の導入支援及び認知プロモーション
JCB	・JCB、American Express、Diners Club、Discover の導入支援及び認知プロモーション
QUADRAC	・交通事業者向け決済及び認証に関するSaaS型プラットフォーム「Q-move」の提供

(参考5) 「steria transit」について

(URL : <https://www.smbc-card.com/kamei/steria/transit/index.jsp>)

決済プラットフォーム「steria」は、キャッシュレス導入に際した課題を解決するため、三井住友カードが、GMOペイメントゲートウェイ・GMOフィナンシャルゲート及びVisaと共に構築した事業者向け決済プラットフォームです。「steria transit」は、「steria」の決済プラットフォームと国際ブランドの非接触決済「タッチ決済」を活用した公共交通機関向けソリューションです。現金・事前チャージの必要がないという消費者の「利便性向上」に加え、「感染症予防対策」「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済促進」等、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されます。また、「steria transit」の技術は、MaaSやスマートシティの認証基盤としても活用できます。今後も、全国各地で導入を予定しています。